

## 日本鐵鋼協會記事

**五月二十三日講演會狀況** 去る五月二十三日午後六時半より、日本鑛業會々館に於て「鋼の鍛冶に就て」工學士井口庄之助君の講演ありたり、研究目次次の如し。

1. 鍛鍊に依る金質内部の移動、a. スチーム、ハンマーの場合、b. ハイドロ、リックプレスの場合、c. 金質内部移動に關する實驗的考察。2. 鋼片中にあるゴースト、ゾーンが鍛鍊に依て變化する有様。
3. 鍛鍊温度と組織の關係。4. 鍛鍊と機械的性質の關係等なり。

本講演は鋼の加工上、内部組織に就て詳細に實驗結果を解明せるものにして、外國に於ても未だ其の例を聞かざる所、大工場なればこそ斯かる實驗の出來たるものと、只管、感服の外なかりき、尙本研究は續行せらるゝものなりと云ふ。

終りに鹽田博士、久芳道雄君、小關直人君、河村驍君等より質疑應答あり、最後に河村會長より謝禮の挨拶ありたり。

出席者六十餘名、同八時四十分散會せり。

**編輯會** 大正十四年五月二十七日（水曜日）午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き製鐵業用術語に就て協議選定せり、當日出席者は河村驍、田中清治、杉村伊兵衛、鹽澤正一、山本貞次郎、三島徳七氏等なり。

**理事會** 大正十四年六月三日（水曜日）午後五時より本會事務所に於て理事會を開き次の事項に就て協議せり、本日出席者は河村驍、依國一、今泉嘉一郎、香村小録、鹽田泰介氏等なり。

1. 贊助會員勸誘の件。2. 十週年紀念大會に關する件。3. 其他會務に關する件。

**編輯會** 大正十四年六月三日（水曜日）午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第十一年第七號の原稿選定並に製鐵業用術語に就て協議選定せり、當日出席者は川上義弘、田中清治、山本貞次郎、三島徳七、鹽澤正一、杉村伊兵衛氏等なり。

**編輯會** 大正十四年六月九日（火曜日）午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き製鐵業用術語に就て協議選定せり、當日出席者は川上義弘、田中清治、山本貞次郎、鹽澤正一、杉村伊兵衛氏等なり。

**製鐵功勞者審査委員會** 大正十四年六月十二日（金曜日）午後四時半より本會事務所に於て第一回製鐵功勞者審査委員會を開き次項に就て協議せり、當日出席者は河村驍、井上匡四郎、水谷叔彦、桂辨三、川上義弘、鹽田泰介、渡邊三郎氏等なり。

1. 製鐵功勞者選定の件

2. 表彰状並に賞牌製作に關する件
3. 表彰式へ招待状發送範圍に關する件
4. 其他關係事項等

編輯會 大正十四年六月十七日(火曜日)午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き製鐵業用語に就て協議選定せり、當日出席者は川上義弘、田中清治、山本貞次郎、鹽澤正一、三島徳七、杉村伊兵衛氏等なり。

役員異動 本會研究通信員、九州帝大助教授小島精一君は本月十一日神戸發白山丸にて工業政策研究の爲め歐米留學の途に就けり。

### 新入會者

東洋製鐵會社常務取締役	終身會員	西野惠之助	紹介者	河村 曉、今泉嘉一郎
八幡製鐵所長官	正 員	中井 勵 作	ク	同 前
東京帝大冶金科學生	准 員	茂 木 茂	ク	田中 清治
日立製作所日立工場	同	池 田 一 郎	ク	下河邊 收
東京鋼材會社スプリング工場	同	棟 居 清 太 郎	ク	小幡 容治
堺市車町大道二四	同	奥 野 貞 治	ク	鹽澤 正一
早大理工學部學生	同	植 山 義 久	ク	同
石川島造船所鑄物工場	同	淺野磯一 郎	ク	波邊 一 郎
同 前	同	山 口 義 雄	ク	田中 清治
九州帝大工學部冶金學教室副手、工學士	同	大 平 一 郎	ク	金子 恭輔
佐世保海軍工廠造機部鑄造工場	同	足 立 次 郎	ク	川村幸太郎
京橋區築地海軍技術研究所	同	北 原 五 郎	ク	松山 寛慈

### 退 會 者

東京工廠陸軍技手	正 員	利根川 流 哉
大阪市天王寺勝山通二ノ五九〇三	同	河 田 勝 治

改姓 正員 澁谷吉五郎君(舊 川 崎)

改名 准員 安部融徳君(舊 市太郎)

本會正會員工學士内田西八郎君は本年六月一日、又正會員藤島壯介君は同三月十二日逝去せらる誠に哀悼の至りなり謹んで弔意を表す